

科目名	保育内容（健康）						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	1	後期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修				
授業概要 乳幼児期は、生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期である。この重要な時期である乳幼児が「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」ための発育発達に応じた援助の基本や、保育者としての健康のあり方の基礎を学ぶ。							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 領域「健康」のねらい及び内容の理解を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解する。 幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定した保育を想定する方法を身に付ける。 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付ける。 					成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 小テスト 演習（模擬保育） 以上を総合的に評価する。		
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○				15
授業態度・授業参加度			○	○	○		5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) オリエンテーション（授業概要、諸注意等のガイダンス）							
領域「健康」とは何か・安定感をもつには							
2) 子どもの育ちと領域「健康」							
幼児期の健康な生活とは							
3) 子どもの「健康」をめぐる現状と課題							
4) 子どもの生活リズムや生活習慣の発達							

5) 子どもの身体の発達と運動能力	
6) 子どもの生活習慣の形成 自分たちで生活の場を整えていくには	
7) 領域「健康」のねらいと内容 領域「健康」と他領域との関係	
8) 前半の学びのふりかえり（小テスト） 子どもの健康と遊び（ルールのある遊び・道具を使った遊び）	
9) 運動意欲を育む保育について考える① （保育教材の研究）	グループワーク
10) 運動意欲を育む保育について考える② （指導案の作成・実践のための準備）	グループワーク
11) 運動意欲を育む保育を実践する① 子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション	演習
12) 運動意欲を育む保育を実践する② 子ども役と保育者役に分かれ展開、その後ディスカッション	演習
13) 子どもの健康と安全教育 危険や安全に関心をもつには	グループワーク
14) 子どもの健康と食環境	グループワーク
15) 子どもの健康における保育者の役割 授業のまとめ、授業評価アンケート	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事や保育雑誌等をよく読み、子ども、あるいは自分自身の健康に関する事柄の理解を広げましょう。 ・グループ活動においては、授業の空き時間等を使い活動を進めてください。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・「事例で学ぶ保育内容 領域健康」無藤隆監修・倉持清美編者代表（萌文書林） ・「幼稚園教育要領解説」文部科学省（フレーベル館） ・「保育所保育指針解説書」厚生労働省（フレーベル館） ・「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 新聞記事や雑誌の内容を資料として適宜配付する。	小児体育 I～IV
備考	
グループ活動では、指導案の作成や教材作製等を行います。人任せにするのではなく、積極的に主体的に取り組むことを望みます。 【オフィスアワー】 弘中 陽子 hironaka@ube-c.ac.jp	